

日本語複合動詞の研究

林翠芳 著

中山大学出版社

· 广州 ·

版权所有 翻印必究

图书在版编目 (CIP) 数据

日本語複合動詞の研究/林翠芳著. —广州: 中山大学出版社,
2000. 10

ISBN 7-306-01690-3

I. 日… II. 林… III. 日語—複合詞: 動詞—研究 IV.
H 364.2

中国版本图书馆 (CIP) 数据 (2000) 核字第 40912 号

中山大学出版社出版发行

(地址: 广州市新港西路 135 号 邮编: 510275)

电话: 020-84111998、84037215)

广东省新华书店经销

广东省番禺市市桥印刷厂印刷

(地址: 番禺市市桥镇环城西路 201 号 邮编: 511400 电话: 84881937)

850 毫米×1168 毫米 32 开本 6.25 印张 200 千字

2000 年 10 月第 1 版 2000 年 10 月第 1 次印刷

定价: 25.00 元

本书如发现印装质量问题影响阅读, 请与承印厂联系调换

目 次

第一章 序説	(1)
1 はじめに	(1)
2 研究対象	(3)
2-1 本稿で扱うデータについて	(3)
2-2 複合動詞の範囲	(4)
2-3 データの量的構成	(4)
第二章 日本語複合動詞研究の現状	(14)
1 複合動詞に関する諸分類.....	(15)
2 前項要素.....	(20)
3 後項要素.....	(20)
4 その他.....	(24)
5 辞書における複合動詞の扱い.....	(26)
第三章 複合動詞の語構造	(28)
1 「自立 V+自立 V」その一	(28)
1-1 前項要素と後項要素の関係.....	(28)
1-2 前項要素と後項要素の意味的近似性.....	(31)
2 「自立 V+自立 V」その二	(33)
2-1 「自立 V+自立 V」の形のもの	(34)
2-2 「付属 V+自立 V」の形のもの	(34)
2-3 「自立 V+付属 V」の形のもの	(35)
3 「付属 V+自立 V」	(36)
3-1 単純動詞の基本的な意味を果たしている もの.....	(36)

3-2	接頭語としての意味	(37)
4	「自立 V+付属 V」	(39)
4-1	時間相を表すもの	(39)
4-2	移動、方向を表すもの	(40)
4-3	程度を強調するもの	(41)
4-4	完遂を表すもの	(42)
4-5	付着を表すもの	(43)
4-6	消滅を表すもの	(43)
4-7	再試行を表すもの	(44)
4-8	習慣を表すもの	(44)
4-9	可能・不可能を表すもの	(45)
4-10	過不足を表すもの	(45)
第四章	複合動詞の構成要素	(48)
1	前項動詞の働き	(48)
1-1	前項要素になりやすい動詞	(49)
1-2	意味による分類	(50)
1-3	文法的特徴による分類	(52)
1-4	造語力の検討	(57)
2	後項動詞の働き	(65)
2-1	後項要素になりやすい動詞	(66)
2-2	意味による分類	(67)
2-3	文法的特徴による分類	(68)
2-4	造語力の検討	(73)
3	両項動詞の働き	(76)
3-1	両項要素になりやすい動詞	(76)
3-2	意味による分類	(77)
3-3	文法的特徴による分類	(77)
3-4	造語力の検討	(79)

第五章 単純動詞と複合動詞構成要素の意義素性の	
変化	(85)
1 前項要素と後項要素の意味関係	(86)
1-1 前項要素と後項要素がともに単純動詞の 基本義をたもつ	(86)
1-2 前項要素に意味の変化がおこる	(88)
1-3 後項要素に意味の変化がおこる	(92)
1-4 前項も後項も単純動詞の基本義を 果たしていない	(95)
2 個別的考察「～上げる」	(96)
2-1 上方への移動	(96)
2-2 程度を強調する	(98)
2-3 動作の完了を表す	(98)
2-4 尊敬の意を表す	(98)
第六章 三次結合の複合動詞	(100)
I 三次結合複合動詞の構成要素	(100)
1 中項要素と後項要素の相違点	(101)
1-1 二次結合とのかかわり	(102)
1-2 三次結合複合動詞の中項要素と 後項要素の相違点	(107)
2 『分類語彙表』における三次結合複合動詞 構成要素の分類傾向	(109)
II 三次結合複合動詞と二次結合複合動詞との かかわり	(117)
1 辞書掲載複合動詞と三次結合複合動詞	(117)
1-1 二次結合複合動詞の存在する語	(118)
1-2 二次結合複合動詞の存在しない語	(123)
2 二次結合と三次結合の後項要素の特徴	(125)

3	三次結合複合動詞の自他性	(127)
第七章	古典語複合動詞とのかかわり	(130)
I	古典語複合動詞から現代語複合動詞へ	(130)
1	資料	(130)
2	古典語で頻用される語	(136)
2-1	語の衰退	(136)
2-2	使用されなくなった語	(142)
3	現代語で活躍する語	(145)
3-1	生産性(語の発展)	(145)
3-2	新出語	(148)
II	古典語複合動詞「思う」の消長	(151)
1	思い+後項動詞	(152)
1-1	各時代における複合動詞「思い+後項動詞」 の使用実態及びその消長	(152)
1-2	語の意味変化	(164)
2	「前項動詞+思う」の消長	(172)
3	古典語における構成要素逆転の複合動詞	(174)
4	『分類語彙表』で見る「思う」と接続する 複合動詞構成要素の特徴	(177)
	注	(181)
	参考文献	(188)

第一章 序 説

1 はじめに

日本語の語彙を語種から見ると、和語、漢語、外来語、混種語の四種類に分けられる。日本語は古くから外来文化と接して外来語を取り入れてきた。すなわち、五世紀ごろから中国より大量に漢字を取り入れていた。これが漢語と呼ばれるものの基礎をなし、日本語に大きな影響を与えている。十六世紀ごろからヨーロッパとの接触が始まり、オランダ語やスペイン語も日本語の中に入るようになった。特に明治以後英語を中心としてドイツ語フランス語などが流入し、外来語は日本語の語彙の中の一つの勢力となった。漢語も外来語もやはり「本来日本にない文物、あるいは新しい概念の輸入に伴って使用されるから、体言として用いられるのは普通である。」^(注1) 今日、外来語が「氾濫している」と言われるほど外来語の使用が増加しているが、そうした中で和語の占める位置はどのようなだろうか、また、外来語の使用の増加に対して和語の増加は停滞しているのだろうか。

和語はやはり日本語の語彙の基礎をなす重要な語種である。日本人が日常生活に使う語彙の大半は和語である。基礎語彙を品詞別に分類してみると、名詞では漢語、動詞では和語が優勢であり^(注2)、また、語彙全体としてみると、「異なり語数では英語、延べ使用語数では和語が優勢である。」^(注3)と言われる。名詞においては、現代語の和語は外来語の増加、そして、

漢語の語基造語力に匹敵することができないが、動詞になると、単純動詞の使用だけでなく、その造語力という点でも（語彙の増加）使用率という点でも到底外来語や漢語は及ばないだろう。従って、現代語においては、動詞による複合語の研究は極めて大事であると言わなければならない。

特に「動詞＋動詞」パタンの複合動詞の量は驚くほど多い。国語辞典に見出し語として出ている複合動詞の数をみると、むしろそこに登録されていない複合動詞の方がずっと多い。本稿の分析対象となる『複合動詞資料集』の統計を見ても分かるように全体異なり7432件の複合動詞のうち、辞書に見出し語として出ている複合動詞は2761件、全体の37.2%に過ぎない。62.8%は辞書に登録されていないのである。文献に現れる複合動詞6838件、全体の92%にもものぼる。これまでに、複合動詞の分析対象として辞書の見出し語を利用することが多かった。しかし、林四郎（1982）の「臨時一語」や鈴木康之（1982）の「自由な複合語」にあるように、その場限りに使われる複合語を研究しようという傾向が強くなっている。なぜ「動詞＋動詞」の形が新語を作りやすいのか、そこにはその語構成や語の意味、また、構成要素となる動詞の造語力などいろいろな問題が含まれている。

本稿の第二章では日本における複合動詞の研究状況を振り返り、第三章では複合動詞の語構造、第四章では複合動詞の構成要素いわゆる複合動詞の造語力、第五章では単純動詞と複合動詞の構成要素の意義素性の変化、第六章では三次結合の複合動詞、第七章では古典語複合動詞との関係を中心に日本語の複合動詞について考察する。これによって、日本語複合動詞の実態の解明に少しでも近づきたい。

2 研究対象

2-1 本稿で扱うデータについて

本稿で取り上げる複合動詞は『複合動詞資料集』（1987）によるものである。この複合動詞のもとになったデータは、大きく二つのグループに分けられる。一つは国立国語研究所旧第一研究部書きことば研究室が行った「語の意味・用法の記述的研究——動詞・形容詞等——」において収集、利用された約45万枚の用例カードからとった複合動詞である。

この用例カードについては『国立国語研究所報告 43 動詞の意味・用法の記述的研究』『国立国語研究所報告 44 形容詞の意味・用法の記述的研究』に詳しいが、その内訳は明治、大正、昭和にわたる52の文学作品及び科学説明文、論説文などから採られた動詞の用例カードは約30万枚、「現代雑誌九十種」（1956年1月号から12月号）の用例カードは約10万枚、「総合雑誌」（1953年7月号から1954年6月号まで）の用例カードは約5万枚である。これらの用例カードから国立国語研究所言語体系研究部第二研究室が記載された約20000語の動詞・形容詞から複合動詞と認めた約7000語を抽出した。以下、これを「文学作品等データ」と呼ぶ。

一方、辞書類の複合動詞は、石井正彦（国立国語研究所研究員）が以前に現代語の国語辞典類【『学研国語大辞典』・『新明解国語辞典』（第三版）・『岩波国語辞典』（第三版）・『国立国語研究所資料集 7 動詞・形容詞問題語用例集』】から採った約2800の複合動詞である。以下、これを「辞書データ」と呼ぶ。

2-2 複合動詞の範囲

ここで取り上げる複合動詞は二つの動詞が結合して一つの動詞としての意味、用法を持つに至ったもの、いわゆる「動詞＋動詞」タイプの複合動詞である。つまり、動詞性要素同士の結び付きはすべて考察の対象とした。

本稿では複合動詞を構成する前部分の動詞を前項要素（前項動詞）、後部分の動詞を後項要素（後項動詞）、前項と後項にまたがる動詞を両項要素（両項動詞）と呼ぶことにする。

2-3 データの量的構成^(注4)

2-3-1 複合動詞の数

複合動詞は異なりで7432語得られた。その内訳は表1のようになる。文学作品等データのうち、約3割は辞書データと重なるが、残りの約7割は辞書データにない複合動詞である。逆に、辞書データは、その約8割までが文学作品等データと重なっている。すなわち実際の用例に見られ、文学作品等データに出現しなかったのは2割強である。また、それぞれの出典別複合動詞数は表2のようになる。

表1 複合動詞の内訳

文学作品等データ	6834
辞書データ	2761
全体（異なり）	7432
文学作品等データにのみ出現	4671
辞書データにのみ出現	598
両方に出現 ¹	2163

表2 出典別の複合動詞数及び出典情報

データ	記号	複合動詞数	出典
文学作品等	B	6017	文学作品・論説文などにあるもの
	Q	594	Bになくて雑誌九十種にあるもの
	Z	223	B・Qになくて総合雑誌にあるもの
辞書	G	2567	『学研国語大辞典』にあるもの
	S	2059	『新明解国語辞典』（第3版）にあるもの
	I	1415	『岩波国語辞典』（第3版）にあるもの
	K	1470	『国立国語研究所資料集7 動詞・形容詞問題用例集』にあるもの

2-3-2 構成要素の数

複合動詞を構成する要素は異なりで2166語得られた。その内訳は表3のようになる。そのうち、文学作品等データにのみ出現する要素が6割弱、文学作品等データと辞書データのどちらにも出現する要素が約4割で、辞書データのみ出現する要素は非常に少ない。構成要素のレベルでは複合動詞のレベルに比べて、量データの重なりが大きくなっており、辞書データの複合動詞を構成する要素のほとんどが、文学作品等データの複合動詞を構成することにも使われていることがわかる。

表 3 構成要素の内訳

文学作品等データ	2118
辞書データ	927
全体（異なり）	2166
文学作品等データにのみ出現	1239
辞書データにのみ出現	48
両方に出現	879

2-3-3 構成要素の度数分布

構成要素の出現度数ごとにその分布を見たのが表 4である。全体の約半数にあたる1030の要素が一回しか出現していない。逆に、10以上の複合動詞をつくる要素は、全体の1割強の289語に過ぎない。累積度数分布を見ると、上位100語で度数全体の51%、200語で63%をカバーし、度数10以上の289語では、全体の70%をカバーしている。

表 4 構成要素の度数分布

出現度数	要素数	出現度数	要素数	出席度数	要素数
400～	3	70～79	9	10～19	159
300～399	0	60～69	8	5～9	293
200～299	4	50～59	8	2～4	554
100～199	11	40～49	14	1	1030
90～99	3	30～39	22		
80～89	1	20～29	47		

2-3-4 前項要素になりやすい要素・後項要素になりやすい要素

構成要素が複合動詞を構成する場合に、前項要素となるのか、後項要素となるのかを見たのが表5である。これによると、前項要素のパラエティーが後項要素のそれより圧倒的に豊かであることがわかる。また、両方に位置する要素の取り扱いも問題となる。これも、前項になりやすいか、後項要素になりやすいかの違いを見ることができているからである。例えば、前項要素に13回、後項要素に432回出現する「出す」と、前項に105回、後項に9回出現する「見る」とを、同じ類として扱うことは適当ではないだろう。また、前項要素として1回しか出現しない「あえぐ」の方が「見る」よりも前項に位置しやすい要素であるということもできないだろう。そこで、ここでは、「前接率」「後接率」という考え方をとることにした。前接率・後接率とは、ある程度の頻度で出現する要素について、前項及び後項要素として現れる割合を総度数に対する百分率で示したものである。表6及び表7は、総度数10以上の要素を前接率順及び後接率順に配列したものである。おおよそ、表6の上位にある要素は前項要素になりやすい要素、表7の上位にある要素は後項要素になりやすい要素といえることができるだろう。

表5 総合位置にする構成要素の分布

前項にのみ位置する	1333
後項にのみ位置する	259
両方に位置する	574

表 6 前接率順

構成要素		度数	文前	文後	辞前	辞後	全前	全後	前接率	後接率
おもい	思い	78	75	0	38	0	78	0	100.00	0.00
つき	突き	75	72	0	49	0	75	0	100.00	0.00
ふき	吹き	69	62	0	37	0	69	0	100.00	0.00
かき	書き	66	51	0	45	0	66	0	100.00	0.00
ふみ	踏み	56	48	0	31	0	56	0	100.00	0.00
し	し	47	38	0	31	0	47	0	100.00	0.00
おい	追い	35	31	0	21	0	35	0	100.00	0.00
ぶち	ぶち	34	31	0	12	0	34	0	100.00	0.00
よび	呼び	33	32	0	15	0	33	0	100.00	0.00
さし	さし	31	20	0	26	0	31	0	100.00	0.00
もうし	申し	27	24	0	18	0	27	0	100.00	0.00
さし	指し	26	21	0	20	0	26	0	100.00	0.00
ね	寝	25	21	0	18	0	25	0	100.00	0.00
まち	待ち	25	23	0	17	0	25	0	100.00	0.00
かみ	噛み	22	19	0	10	0	22	0	100.00	0.00
すり	擦り	21	17	0	14	0	21	0	100.00	0.00
なり	成り	21	20	0	9	0	21	0	100.00	0.00
ぬり	塗り	20	17	0	11	0	20	0	100.00	0.00
ふり	降り	20	16	0	10	0	20	0	100.00	0.00
ほり	掘り	20	19	0	6	0	20	0	100.00	0.00
き	着	19	13	0	15	0	19	0	100.00	0.00
せめ	攻め	19	13	0	13	0	19	0	100.00	0.00
にげ	逃げ	19	18	0	11	0	19	0	100.00	0.00
ぬい	縫い	19	17	0	8	0	19	0	100.00	0.00
もえ	燃え	19	18	0	5	0	19	0	100.00	0.00
に	煮	18	12	0	14	0	18	0	100.00	0.00

続表 6

構成要素		度数	文前	文後	辞前	辞後	全前	全後	前接率	後接率
あみ	編み	17	17	0	2	0	17	0	100.00	0.00
け	蹴	17	11	0	15	0	17	0	100.00	0.00
なき	鳴き	16	14	0	4	0	16	0	100.00	0.00
はい	這い	16	13	0	11	0	16	0	100.00	0.00
くみ	汲み	15	13	0	8	0	15	0	100.00	0.00
すい	吸い	15	15	0	7	0	15	0	100.00	0.00
やけ	焼け	14	13	0	7	0	14	0	100.00	0.00
い	射	13	10	0	9	0	13	0	100.00	0.00
いき	生き	13	13	0	6	0	13	0	100.00	0.00
うまれ	生まれ	13	12	0	4	0	13	0	100.00	0.00
はせ	弛せ	13	12	0	8	0	13	0	100.00	0.00
はなし	話し	13	13	0	3	0	13	0	100.00	0.00
もり	盛り	13	12	0	7	0	13	0	100.00	0.00
あそび	遊び	12	11	0	3	0	12	0	100.00	0.00
かり	刈り	12	9	0	5	0	12	0	100.00	0.00
しゃべり	喋り	12	12	0	0	0	12	0	100.00	0.00
にぎり	握り	12	12	0	2	0	12	0	100.00	0.00
ねじ	振じ	12	8	0	10	0	12	0	100.00	0.00
やき	焼き	12	11	0	6	0	12	0	100.00	0.00
ゆれ	揺れ	12	12	0	0	0	12	0	100.00	0.00
あらい	洗い	11	10	0	6	0	11	0	100.00	0.00
かぎ	嗅ぎ	11	10	0	5	0	11	0	100.00	0.00
かんじ	感じ	11	11	0	2	0	11	0	100.00	0.00
つくり	作り	11	10	0	7	0	11	0	100.00	0.00
でき	出来	11	10	0	3	0	11	0	100.00	0.00
やせ	痩せ	11	9	0	5	0	11	0	100.00	0.00

続表 6

構成要素		度数	文前	文後	辞前	辞後	全前	全後	前接率	後接率
よい	酔い/酔っ	11	11	0	3	0	11	0	100.00	0.00
こぎ	漕ぎ	10	7	0	5	0	10	0	100.00	0.00
どなり	怒鳴り	10	10	0	2	0	10	0	100.00	0.00
なり	鳴り	10	10	0	3	0	10	0	100.00	0.00
ねり	練り	10	7	0	6	0	10	0	100.00	0.00
ほめ	ほめ	10	9	0	5	0	10	0	100.00	0.00
いい	言い/言う	108	82	1	82	0	107	1	99.07	0.92
おし	押し/押す	96	81	1	52	0	95	1	98.95	1.04
ひき	引き/引く	143	126	2	99	3	140	3	97.90	2.09
かい	買い/買う	37	27	1	20	0	36	1	97.29	2.70
かき	掻き/掻く	61	51	2	36	1	59	2	96.72	3.27
うち	打ち/打つ	108	94	3	67	4	104	4	96.29	3.70
かけ	駆け/駆ける	23	21	1	11	0	22	1	95.65	4.34
ふり	振り/振る	45	39	1	29	2	43	2	95.55	4.44
のり	乗り/乗る	44	34	2	29	1	42	2	95.45	4.54
さき	咲き/咲く	22	21	1	6	1	21	1	95.45	4.54
くい	食い/食う	41	33	2	26	0	39	2	95.12	4.87
とき	説き/説く	20	17	1	8	0	19	1	95.00	5.00

表 7 後接率順

構成要素		度数	文前	文後	辞前	辞後	全前	全後	前接率	後接率
あい	合う	273	0	253	0	76	0	273	0.00	100.00
つくし	尽くす	76	0	73	0	11	0	76	0.00	100.00
かえし	返す	73	0	63	0	45	0	73	0.00	100.00
はて	果てる	43	0	42	0	13	0	43	0.00	100.00
おり	おる	33	0	33	0	0	0	33	0.00	100.00

続表 7

構成要素	度数	文前	文後	辞前	辞後	全前	全後	前接率	後接率
ちらし 散らす	29	0	24	0	16	0	29	0.00	100.00
こめ 込める	24	0	22	0	13	0	24	0.00	100.00
はなし 放す	22	0	16	0	15	0	22	0.00	100.00
そこない 損う	21	0	17	0	9	0	21	0.00	100.00
とばし 飛ばす	19	0	17	0	15	0	19	0.00	100.00
おえ 終える	18	0	18	0	1	0	18	0.00	100.00
そめ 初める	16	0	13	0	4	0	16	0.00	100.00
ちがえ 違える	15	0	12	0	12	0	15	0.00	100.00
もどし 戻す	15	0	10	0	11	0	15	0.00	100.00
ふせ 伏せる	14	0	11	0	9	0	14	0.00	100.00
たり 足りる	13	0	13	0	2	0	13	0.00	100.00
おくれ 遅れる	12	0	10	0	6	0	12	0.00	100.00
はじめ 始め/始める	401	2	399	0	0	2	399	0.49	99.50
え 得/得る	435	3	432	0	2	3	432	0.68	99.31
なおし 直し/直す	73	1	65	0	24	1	72	1.36	98.63
おわり 終わり/終わる	63	1	62	0	0	1	62	1.58	98.41
すぎ 過ぎ/過ぎる	176	3	172	2	11	3	173	1.70	98.29
かね 兼ね/兼ねる	112	2	109	1	7	2	110	1.78	98.21
かえ 替え/替える	52	1	42	0	34	1	51	1.92	98.07
こみ 込み/込む	236	5	207	3	164	5	231	2.11	97.88
あげ 上げ/上げる	132	3	117	0	92	3	129	2.27	97.72
まわし 回し/回す	44	1	38	0	25	1	43	2.27	97.72
つづけ 続け/続ける	173	4	169	0	2	4	169	2.31	97.68
だし 出し/出す	445	12	418	6	101	13	432	2.92	97.07
あわし 合わし/合わす	34	1	29	0	13	1	33	2.94	97.05
ころし 殺し/殺す	30	1	24	0	17	1	29	3.33	96.66